

【家庭教育支援チーム】

| | |
|----------------------------|---|
| チーム名 (呼称) | 海津市家庭教育支援チーム (呼称：海津市家庭教育推進協議会) |
| 活動開始年度 | 平成19年度 |
| 活動拠点 | 海津市内各公民館や各小中学校等 |
| 活動範囲 | 海津市内全域 |
| 活動財源 | <input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(学校・家庭・地域の連携協力推進事業) <input checked="" type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 |
| 組織体制 | 30人 家庭教育推進協議会委員13人、相談チーム専門相談員13人、応援隊講座各代表8名 ※4名は兼務 |
| 具体的な活動内容 | ① 相談チームによる子育て支援 各課や団体等で相談活動を行っている担当者が交流し、お互いの活動に役立てることを目的に開催。 ② 応援隊講座による子育て支援 27年度は、9つのボランティア団体が登録し、活動内容を交流したり行事スタッフを補ったりしながら実施。 ③ 地区チームによる子育て支援 海津市内の地区ごとに行われる三世代交流行事を支援。社会福祉協議会や青少年育成員とも連携をとりながら実施。 ④ 家庭教育学級の工夫改善研修による子育て支援 各学校の家庭教育学級長や教頭先生を対象に家庭教育学級の進め方のレクチャーや参考になる話題を提供。 子育て親育ち講座による子育て支援 就学半年前の保護者を対象に実施。各小学校の就学時検診の日に行うため、出席率は100%に近い。 ⑤ 子育てサポーター・リーダー養成講座による子育て支援 子育て支援に関わるリーダーやサポーターの養成を意図して講演会を開催。 ⑥ 子育て通信発行による子育て支援 幼児の保護者向けと小中学校保護者向け通信をそれぞれ年4回発行。市内対象の全保護者に学校や園を通して配布。 |
| 活動を通して感じていること (成果、課題など) | 活動も9年目に入り、活動内容は地域住民に周知されつつある。毎年の恒例行事はもとより、家庭教育支援チームとしての活動内容は根付いているものもある。マナー化により活動の質を落とさないことや新しい活動を入れていくことで、より多くの方々に必要とされる取組にしていくよう努めている。 |